

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされておりますこのような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	乳がん患者における Dual Energy CT を用いた骨転移検出の検討
当院の研究責任者（所属）	朝日理紗（放射線部）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	通常 MRI で診断可能な骨転移を、CT によって検出可能であるか検討するため
調査データ該当期間	2018 年 1 月～2024 年 10 月
研究の方法（使用する資料等）	Dual Energy CT によって撮像された、骨転移を認めた乳がん患者症例、加齢性変化を認めた乳がん患者症例、椎体骨折の症例を解析ソフトを用い比較。定量的に骨転移の検出が可能か検討を行う。
試料/・情報の他の機関への提供	放射線部より他の部門・病院外へは持ち出さない
個人情報の取り扱い	検査画像や検査データは特定の患者に係属不能な状態を担保した上で管理する
本研究の資金源(利益相反)	利益相反はなし
お問い合わせ先	研究責任者 放射線部 朝日理紗
備考	